

仕 様 書

1 箕面市図書館システム更新業務委託

1. 履行場所

箕面市箕面 5-11-23 中央図書館
箕面市粟生間谷西 3-1-3 東図書館
箕面市船場西 3-8-22 萱野南図書館
箕面市半町 4-6-39 西南図書館
箕面市桜ヶ丘 4-19-3 桜ヶ丘図書館
箕面市萱野 1-19-4 らいとぴあ 2 1 図書コーナー
箕面市小野原西 5-2-36 小野原図書館
箕面市百楽荘 1-8-7 箕面小学校
箕面市萱野 2-7-40 萱野小学校
箕面市箕面 3-4-1 北小学校
箕面市桜 6-5-1 南小学校
箕面市新稲 3-12-2 西小学校
箕面市粟生新家 5-5-1 東小学校
箕面市瀬川 3-2-1 西南小学校
箕面市石丸 1-18-1 萱野東小学校
箕面市粟生間谷西 4-3-1 豊川北小学校
箕面市稲 1-15-8 中小学校
箕面市小野原東 3-2-1 豊川南小学校
箕面市如意谷 4-4-1 萱野北小学校
箕面市新稲 3-2-1 第一中学校
箕面市萱野 1-15-12 第二中学校
箕面市瀬川 3-2-2 第三中学校
箕面市石丸 1-17-1 第四中学校
箕面市稲 4-3-12 第五中学校
箕面市粟生間谷西 1-3-1 第六中学校
箕面市森町中 1-23-14 とどろみの森学園
箕面市彩都粟生北 2-1-5 彩都の丘学園
箕面市船場西 3-8-22 教育センター
箕面市箕面 6-3-1 郷土資料館

2. 業務内容

以下の項目及び「3. 導入システムについて」に指定する機能を持った図書館システム（以下「本システム」という。）を導入し、稼働させるために必要な作業一切を含むものとする。

(1) パッケージシステムの調達・設定・調整

・これに必要な本市担当者との打ち合わせを含む。

(2) 本システムの稼働に必要なハードウェアの調達・設置・設定

- ・ハードウェア詳細は「別紙1 図書館システム端末機器等調達」のとおり。
 - ・これに必要な本市担当者との打ち合わせを含む。
 - ・「別紙2 本市保有端末等一覧」の既存機器の設置・設定含む。
 - ・ネットワーク機器の調達・設置・設定含む。ネットワーク機器の設置・設定にあたっては、市庁内ネットワーク保守事業者との調整協議を行い、整合をとりながら作業を進めること。
- (3) 本システムの稼働に必要なソフトウェアの調達・インストール・設定・調整
- ・これに必要な本市担当者との打ち合わせを含む。
 - ・「別紙2 本市保有端末等一覧」の既存機器へのインストール・設定・調整含む。
- (4) LAN 配線作業
- ・機器設置に伴う LAN 配線（既存の LAN 配線がない場合）及びデータセンターとの接続にかかる LAN 配線等
 - ・これに必要な本市担当者との打ち合わせを含む。
 - ・必要なケーブル、ハブ、その他の物品調達を含む。
 - ・既設ケーブルの撤去を含む。
- (5) 現行システムから本システムへのデータ移行計画の作成、データ移行及び移行検証作業
- ・これに必要な現行ベンダとの打合せ・各種調整を含む。
- (6) 「5. IC タグシステムとの連携」に規定する IC タグシステムとのデータ連携の構築
- ・これに必要な現行 IC タグシステムベンダとの打合せ・各種調整・テスト含む。
- (7) 稼働に向けて必要となるテスト作業やドキュメントの作成
- (8) 運用にあたって必要となる諸検証作業
- (9) 本システム導入にあたっての研修計画の作成と、本市職員への研修の実施
- (10) マニュアル等、本システムの稼働にあたり必要なドキュメントの作成
- (11) 本稼働立ち会い

3. 導入システムについて

様式23「必須要件項目」に記載する全機能を実装したシステムを導入すること。
また、以下の点についても対応済みのシステムを導入すること。

3-1 システム全般

- (1) 本システムは、クラウド方式で導入するものとし、サーバ機器はデータセンターに設置する。パッケージシステムは、導入時点で安定稼働の実績のある最新版を用いること。また、パッケージシステムは本稼働後10年間の保守サポートを保障されており、サーバ機器・端末機器更新時に導入パッケージシステムにかかる経費を発生させないこと（端末、その他機器等については「別紙3 機器更新予定表」のとおり更新予定。）
- (2) システムの本稼働後121カ月以内にパッケージシステムがバージョンアップ（マイナーバージョンアップ、メジャーバージョンアップ）した場合、様式23「必須要件項目」において標準パッケージで対応可能と記載した機能については、経費がかからないものであること。
- (3) 使用するハードウェア（サーバ以外）については、製品指定などの制約がないこと。
- (4) 本システム導入後も使用し続けるハードウェア（「別紙2 本市保有端末等一覧」のとおり）でも、問題なく稼働するシステムであること。また、端末のOSが混在（Microsoft Windows 7、8、将来的に10も想定）していても問題なく稼働するシステムであること。
- (5) 稼働時間は1日あたり24時間、年間365日とする（計画的な停止は除く）。

- (6) 現在の図書館貸出券がそのまま利用可能であること。
- (7) 現行図書館ホームページとのリンクにより、インターネットで以下のサービスを提供可能であること。
 - ①本の検索、予約申込み
 - ②予約状況の確認や取消
 - ③貸出状況の確認、貸出期間の延長申込み
 - ④予約資料が用意できた際に送信するメールの宛先メールアドレスの登録
 - ⑤新着お知らせメールの登録
 - ⑥インターネットサービス利用のパスワードの変更
- (8) ファイル共有ができること（データ容量の推定は1TB程度）。また、ファイル共有データについてはミラーリング等でバックアップをとること。
- (9) 適宜、的確なデータ収集が行え、CSV等による出力が可能であること。
- (10) 館の追加や開館時間の変更等、軽微な修正はパラメータ設定で可能であること。

3-2 データ連携

- (1) 「5. ICタグシステムとの連携」に規定するICタグシステムと連携する機能を有していること。
- (2) TRCのTOOLiシステムと連携ができ、図書館システムから出力したデータをTOOLiにアップロードし、発注できること。TOOLiからのダウンロードデータを図書館システムへ取り込むことによる登録が可能なこと。ローカルデータ、新刊マーク、内容細目、抽出マークの登録が可能なこと。TRCMARCはTタイプとする。

3-3 ネットワーク

各館（公共図書館7館、学校図書館20校、教育センター、郷土資料館）を結ぶネットワークは、箕面市の市内情報系ネットワーク（光ファイバ専用線、図書館システム用VLAN）を使用すること。ネットワークの設計及び機器のネットワーク接続にあたっては、市市内ネットワーク保守事業者との調整協議を行い、整合をとりながら作業を進めること。データセンターとの接続回線は広域イーサネットまたはIP-VPNとし、レスポンスの確保のため、回線は最低で10Mbpsの帯域確保型とすること。

3-4 クラウドサービス

- (1) データバックアップ、サーバの運用監視、保守については、「2 箕面市図書館システム保守業務委託」に記載する本システム保守業務委託の範囲内で実施すること。
- (2) クラウドサービスの提供に用いるハードウェアについて、障害が発生しても業務を継続できるよう、冗長化等の対策をとること。
- (3) クラウドサービスの提供に用いるアプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器等について、以下のセキュリティ対策を講じていること。
 - ①プラットフォーム、サーバ・ストレージについてウイルス等に対する対策を講じていること。
 - ②外部及び内部からの不正アクセスを防止する措置（ファイアウォールの導入等）を講じていること。
 - ③インターネットから接続されるサーバには、利用者個人情報は一切保持しないこと。
 - ④サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器等の情報システムが設置されている建物（情報処理施設）については、免震構造（建物の振動を緩和する仕組）又は耐震構造（強い振動にも耐

えうる頑強な構造)を採用した建物を利用すること。停電や電力障害が生じた場合に電源を確保するための対策を講じること。水害・火災・落雷対策が行われ、機器等の発熱を抑えるのに十分な空調設備を有すること。

- ⑤サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器等の情報システムが設置されている建物（情報処理施設）の重要な物理的セキュリティ境界に対し、従業員及び出入りを許可された外部組織等に対する入退室管理を行い、入退室記録を作成し、適切な期間保存すること。重要な物理的セキュリティ境界に対して監視カメラを設置し、その稼働時間と監視範囲を定めて監視を行うこと。また、監視カメラの映像を予め定められた期間保存すること。

3-5 パッケージ、端末機器等のセキュリティ対策

- (1) 本システムでの利用者データにかかる抽出・出力等の処理について、ユーザ認証機能や権限設定機能により、処理可能なユーザを制限できること。また、本システムでの利用者データに関する処理の操作履歴を追跡できること。
- (2) OPAC 端末は、利用者による環境設定の変更を防ぐとともに、再起動時には設定を復元するソフトを導入し、ローカルディスク上にデータを残さないように設定すること。復元が行われてもウイルス対策ソフトのパターンファイルなど、必要なファイルや設定情報は最新の状態を維持すること。
- (3) 端末機器、ネットワーク機器の設定にあたっては、セキュリティの確保に十分配慮すること。公共図書館においては、下記①インターネット接続専用端末以外の端末については、インターネット接続ができないように設定すること。各端末の設定は、以下のとおりとする。

①インターネット接続専用端末

用途：カウンターレファレンスサービス、他市・他府県図書館との相互貸借申し込み

設定：インターネット接続	可
業務システム使用	不可
USB メモリ、外部記録媒体接続	不可
共有フォルダ接続	不可

②業務端末

設定：インターネット接続	不可
業務システム使用	可
USB メモリ、外部記録媒体接続	不可
共有フォルダ接続	可

③管理用業務端末

用途：外部記録媒体へのデータ出力、TOOLi とのデータ連携

設定：インターネット接続	不可
業務システム使用	可
USB メモリ、外部記録媒体接続	可（特定の USB メモリ、特定の機器限定）
共有フォルダ接続	可

- (4) サーバ及び端末ローカルディスクについて、管理者以外のユーザがアクセスできる部分を制限できること。また、管理用業務端末以外の端末への USB メモリや外部記録媒体の接続を制限すること。管理用業務端末には、暗号化機能や認証機能によりセキュリティが確保された USB メモリのみ接続できるしくみを構築すること。
- (5) OS のパッチ (Windows Update) について、全端末にスケジュール設定による適用実行が可能となるように、仕組みを構築すること。

- (6) 全端末に対しウィルス対策を講じ、常に最新に更新し、パターンファイルの自動更新機能、常時監視機能及び検知時の通知機能を有すること。
- (7) 「別紙2 本市保有端末等一覧」の機器は、本システムの端末機として問題なく稼働するよう、上記(1)から(6)の内容に則して設定を行うこと。ただし、業務端末3(学校)42台については、インターネット接続ができるように設定すること。なお、業務端末1(小野原)及び業務端末3(学校)42台のうち21台(各校1台)は、管理用業務端末とする。

4. 図書館システムの稼働開始時期

平成28年3月1日(火)の稼働開始とする。

5. ICタグシステムとの連携について

- (1) 公共図書館及び学校図書館のICタグシステムとの連携を構築すること。ICタグシステムとの連携を実施する対象館は、全公共図書館、小学校1校、中学校1校、小中一貫校1校とする。
- (2) 公共図書館については、以下の<IC機器一覧>に示す機器とのデータ連携を構築すること。
- (3) 学校図書館については、小学校1校の業務端末1台、中学校1校の業務端末1台、小中一貫校1校の業務端末2台に、「別紙1 図書館システム端末機器等調達」で調達するICリーダライタ機器を接続し、ICタグでの貸出・返却が行えるよう、ICタグシステムとの連携を構築すること。
- (4) 通信プロトコルはSIP2またはABCとし、リアルタイムで連携すること。
- (5) <IC機器一覧>のうち、No.1、2、3のICゲートから、来館者数・退館者数のカウントデータを日次で取得し、統計データとして出力すること。
- (6) <IC機器一覧>のうち、No.1、2、3のICゲートとリアルタイムで連携し、ゲート通過書名の表示を行うこと。通過エラーを検出し、エラーログ及びエラー警告画面を表示すること。
- (7) <IC機器一覧>のうち、No.7の機器については、返却口上下に設置したアンテナにリーダライタ部が常時コマンド出力を行い、読み取り漏れのないしくみを構築している。連携の構築にあたってはこのしくみに留意し、読み取り漏れのないようにすること。
- (8) 現行ICタグシステムベンダとの調整協議を行い、整合をとりながら作業を進めること。連携の構築にあたっては、テスト及び動作確認を行うこと。

<IC 機器一覧>

No.	品名	型番	数量	設置場所						
				中央	東	萱野南	西南	桜ヶ丘	人文図書	小野原
1	ICゲート(1通路用)	ビブリオゲートⅦ 1通路ゲート (Q70001 BiblioGate ™ Ⅶ Crystal Gate Single)	4式	1			1	1	1	
2	ICゲート(2通路用)	ビブリオゲートⅦ 2通路ゲート (Q70002 BiblioGate ™ Ⅶ Crystal Gate Double)	5式		1	1	1		1	1
3	ICゲート(予約コーナ用・1通路用)	ビブリオゲートⅦ 1通路ゲート (Q70001 BiblioGate ™ Ⅶ Crystal Gate Single)	4式	1	1	1	1			
4	IC自動貸出機用ICリーダーダライタ	BIBLIOTHECA社製 Q10300 Biblio Staff Station™ USB (リーダーダライタ部FEIG社MR102)	6式	1	1	1	1			2
5	IC自動貸出機用ICリーダーダライタ(カウンター転用)	BIBLIOTHECA社製 Q10300 Biblio Staff Station™ USB (リーダーダライタ部FEIG社MR102)	7式	2	1	1	1	1	1	
6	IC自動貸出機用ICリーダーダライタ(予約コーナー用)	BIBLIOTHECA社製 Q10300 Biblio Staff Station™ USB (リーダーダライタ部FEIG社MR102)	4式	1	1	1	1			
7	IC自動返却機用ICリーダーダライタ	BIBLIOTHECA社製 Bibliotheca P30306/P30217/P30305 (リーダーダライタ部FEIG社MR2500)	7式	1	1	1	1	1	1	1
8	蔵書点検機(PDA/ソフトウェア含む)	BIBLIOTHECA社製 Q18321 BibliolInventory (PDA付)	7式	1	1	1	1	1	1	1
9	業務用ICリーダーダライタ(カウンター)	BIBLIOTHECA社製 Q10300 Biblio Staff Station™ USB (リーダーダライタ部FEIG社MR102)	11式	2	2	2	2	1	1	1
10	業務用ICリーダーダライタ(事務所)	BIBLIOTHECA社製 Q10618 Biblio Staff Station™ with shielded antenna USB (リーダーダライタ部FEIG社MR102)	24式	12	4	2	3	1	1	1

6. データ移行について

現行システムのデータを、業務に支障をきたすことなく移行すること。移行対象データは、蔵書データ、利用者データ、貸出データ、予約データ、デジタルアーカイブデータ等、本システムに引き継ぐ全てのデータとする。

今回の選定結果により、現行システムベンダーと業務受注者が異なることとなった場合で、受注者のみで移行作業ができない場合は、現行システムからのデータ抽出は本市から現行システムの導入ベンダーに別途依頼するものとする。業務受注者は、抽出されたデータを元に本システムに確実に移行すること。

データ抽出回数は3回（うち初回データの抽出は9月を予定）、文字コードはS-JIS、レイアウトは現行システムベンダーの指定するレイアウトとする。本市の業務規模を考慮し、本市と同規模の図書館に対応する内容でシステムを提案すること。統計データ（平成26年度実績）及び5年後見込み、デジタルアーカイブデータ件数等は以下のとおり。

<統計データ及び5年後の見込み>

	H24	H25	H26	H31末の予想
蔵書数	711,872	746,498	758,375	874,633
利用者登録数	155,396	160,450	164,279	186,487
年間貸出冊数	1,427,421	1,578,456	1,585,083	1,979,238
年間予約件数	276,249	315,927	318,159	422,934

<デジタルアーカイブデータ>

件数 : 6,191 件

容量 : 7GB

<別紙1 図書館システム端末機器等調達>

1. 業務内容

下記2. 及び3. に指定する要件を満たすハードウェアの調達を行う。調達は購入による調達とし、図書館システム導入業務委託で導入する図書館システム（以下「本システム」という。）として問題なく稼働するよう設定されたハードウェアを調達する。また、以下に示す以外にも、本システムの稼働に必要なソフトウェア（パッケージソフト含む）・ネットワーク関連機器等の調達も含むこととする。また、各機器は本システムが問題なく稼働するスペックのものを調達することとし、原則として最新のOSに対応する最新の機種を選定すること。

ハードウェア保守は原則いわゆる「保守パック」の購入を想定している。ただし、製品によっては、委託による保守やスポット対応での修繕も可能とする。なお、ICリーダライタの保守は別途ICリーダライタの保守業者と契約するものとする。

2. 調達機器構成

- (1) 調達機器は、以下の構成を基本とする。ただし、仕様のない機器でも本システムの稼働に必要な機器は調達に含めること。また、本システムの構成によって、以下の他にネットワーク機器などが必要となる場合は、調達機器に含めること。
- (2) 端末機器は72ヶ月間保守が可能であること。また、その他機器及びネットワーク機器は60ヶ月間保守が可能であること。
- (3) 本システムでの蔵書検索において、掛け合わせ検索や一文字検索でも、業務に支障のない速度の検索レスポンスを実現する性能の機器を調達すること（ストップワードの設定をしなくても実現すること）。

<端末機器>

	中央図書館	東図書館	桜ヶ丘図書館	西南図書館	萱野南図書館	らいとびあ21 図書コーナー	郷土資料館	予備機	端末種別毎 合計
自動貸出機 (タッチパネル)	2	1	1	1	1	1	0	1	8
OPAC (キーボード)	3	1	0	2	1	0	0	0	7
OPAC (タッチパネル)	2	1	1	1	1	1	1	1	9
インターネット接続 専用端末	1	1	1	1	1	1	0	1	7
業務端末 デスクトップ	8	4	0	3	2	0	0	2	19
業務端末 ノート	4	1	1	1	1	1	0	2	11
業務端末 管理用	1	1	1	1	1	1	0	1	7
館合計	21	10	5	10	8	5	1	8	68

*「別紙2 本市保有端末等一覧」については、導入するシステムにおいても継続して使用することとし、それらを含まない上記機器を調達対象とする。

<その他機器>

	中央図書館	東図書館	桜ヶ丘図書館	西南図書館	萱野南図書館	らいとびあ21 図書コーナー	学校	予備機	合計
ハンディターミナル	6	0	0	0	0	0	0	8	14
ハンディターミナル 通信ユニット	3	0	0	0	0	0	0	1	4
スキャナー(バーコード リーダ)	15	7	3	6	5	3	6	1	46
レシートプリンタ	0	0	0	0	0	0	0	5	5
業務端末接続用IC リーダライタ	0	0	0	0	0	0	4	0	4

3. 端末機器その他機器における要件

- (1) ハードウェア障害発生時における代替・交換部品の入手が困難でないこと。
- (2) デスクトップ型端末（自動貸出機、OPAC、インターネット接続専用端末、デスクトップ業務端末、管理用業務端末）の仕様は、次のとおりとする。

①OS

- ・ Microsoft Windows 8 以上

②インストールソフト

- ・ ウィルス対策ソフト（Trend Micro Client/Server Suite アカデミック）がインストールされていること。ただし、インターネット接続専用端末以外は本市保有ライセンスでまかなうものとし、インターネット接続専用端末 7 台は追加でライセンスを調達すること。
- ・ デスクトップ業務端末及び管理用業務端末（中央図書館除く）は、「Microsoft Word 2013 アカデミック」及び「Microsoft Excel 2013 アカデミック」がインストールされているものであること（Word と Excel が含まれているアカデミックパックでも可）。
- ・ 中央図書館の管理用業務端末は、「Microsoft Office Professional アカデミック 2013」がインストールされているものであること。
- ・ OPAC 端末は、利用者による環境設定の変更を防ぐとともに、再起動時には設定を復元するソフトを導入し、ローカルディスク上にデータを残さないように設定することを可能にすること。復元が行われてもウイルス対策ソフトのパターンファイルなど、必要なファイルや設定情報は最新の状態を維持すること。
- ・ 管理用業務端末以外の端末への USB メモリや外部記録媒体の接続を制限すること。管理用業務端末には、暗号化機能や認証機能によりセキュリティが確保された USB メモリのみ接続できるしくみを構築すること。これに必要なソフトウェアの導入を行うこと。

③その他

- ・ 再セットアップ用の媒体を一式添付すること。
- ・ 全端末をセキュリティワイヤーにより固定すること。

- (3) ノート型業務端末の仕様は、次のとおりとする。

①OS

- ・ Microsoft Windows 8 以上

②インストールソフト

- ・ ウィルス対策ソフト（Trend Micro Client/Server Suite アカデミック）がインストールされていること。ただし、ライセンスは本市保有ライセンスでまかなうものとする。

③その他

- ・ 再セットアップ用の媒体を一式添付すること。
- ・ 全端末をセキュリティワイヤーにより固定すること。
- ・ USB メモリや外部記録媒体の接続を制限すること。これに必要なソフトウェアの導入を行うこと。

④無線 LAN アダプター内蔵の機器とすること。

*蔵書点検時以外は無線 LAN への接続はできないよう設定したうえで、有線 LAN で本システムに接続し、業務端末として使用する。蔵書点検時には、有線 LAN から切り離して、無線 LAN へ接続可能となるよう設定変更し、蔵書点検機（BIBLIOTHECA 社製 Q18321 BiblioInventory）と無線で通信を行い、蔵書点検機で読み取ったデータを一時的にノート型業務端末に保存する。その後、本システムの有線ネットワークに接続し、蔵書点検データをシステムに取り込む。

<別紙2 本市保有端末等一覧>

	型番	製品仕様	中央	東	桜ヶ丘	西南	萱野南	人文	小野原	学校	代替機	合計
ゲート監視端末 (小野原) 2通路ICゲート	DELL Optiplex7010	Core i3-3220(3.30GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイRDT1711LM(BK)(17インチ) 接続:2通路ICゲート Q70002 BiblioGateTM VIICrystalGateDouble	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ゲート監視端末 1通路ICゲート	DELL Optiplex390SFF	Corei3 2100(3.10GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイRDT1711LM(BK)(17インチ) 接続:1通路ICゲート Q70001 BiblioGateTM Crystal Gate Single	2	1	1	2	1	1	0	0	0	8
ゲート監視端末 2通路ICゲート	DELL Optiplex390SFF	Corei3 2100(3.10GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイRDT1711LM(BK)(17インチ) 接続:2通路ICゲート Q70002 BiblioGateTM Crystal Gate Double	0	1	0	1	1	1	0	0	0	4
自動返却機 (小野原)	DELL Optiplex7010	Core i3-3220(3.30GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイRDT1711LM(BK)(17インチ) 筐体にICアンテナ内蔵(Bibliotheca P30306/P30217/P30305)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
自動返却機	DELL Optiplex390SFF	Corei3 2100(3.10GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイRDT1711LM(BK)(17インチ) 筐体にICアンテナ内蔵(Bibliotheca P30306/P30217/P30305)	1	1	1	1	1	1	0	0	0	6
自動貸出機 (小野原) (タッチパネル)	DELL Optiplex7010	Core i3-3220(3.30GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイET1715L8CJA1BGG(17インチ) スキャナー-PDC-1010-000-UM 接続:ICアンテナ(Q10300 BiblioStaff StationTM USB)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
自動貸出機 (タッチパネル)	DELL Optiplex390SFF	Corei3 2100(3.10GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイET1715L8CJA1BGG(17インチ) スキャナー-PDC-1010-000-UM 接続:ICアンテナ(Q10300 BiblioStaff StationTM USB)	2	2	0	2	2	0	0	0	0	8
予約照会機 (小野原) (タッチパネル)	DELL Optiplex7010	Core i3-3220(3.30GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイRDT1711LM(BK)(17インチ) スキャナー-PDC-1010-000-UM	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
予約照会機 (タッチパネル)	DELL Optiplex390SFF	Corei3 2100(3.10GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイET1715L8CJA1BGG(17インチ) スキャナー-PDC-1010-000-UM	1	1	1	1	1	1	0	0	0	6
OPAC (小野原) (タッチパネル)	DELL Optiplex7010	Core i3-3220(3.30GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイET1715L8CJA1BGG(17インチ)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
業務端末1 (小野原)	DELL Optiplex7010	Core i3-3220(3.30GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイRDT1711LM(BK)(17インチ) スキャナー-PDC-1010-000-UM 接続:ICアンテナ(Q10300 BiblioStaff StationTM USB)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
業務端末2 (小野原)	DELL Optiplex7010	Core i3-3220(3.30GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク250GB ディスプレイET1715L8CJA1BGG(17インチ) スキャナー-PDC-1010-000-UM 接続:ICアンテナ(Q10618 BiblioStaff StationTM with shielded antenna USB)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
業務端末3 (学校)	DELL Optiplex380	Core2Duo E8400(3.00GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク160GB ディスプレイRDT1711LM(BK)(17インチ) スキャナー-PDC-1010-000-UM	0	0	0	0	0	0	0	42	0	42
BM端末(NT)	DELL Latitude E5520	Corei5-2520M(2.50GHz)、Win7 Pro(32Bit)、 メモリ4GB、ディスク320GB スキャナー-PDC-1010-000-UM 接続:ICアンテナ(Q10618 BiblioStaff StationTM with shielded antenna)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
バーコードリーダー	PDC-10A (一部PDC-1010あり)	タッチ式バーコードリーダー [日本システム開発] 接続: 自本市保有端末(自動貸出機、予約照会機、業務端末) 新規調達機器(自動貸出機、OPAC兼自動貸出機、業務端末)	20	10	4	9	8	4	5	42	1	103
レシートプリンタ	TSP143 II U JP	サーマルプリンタ [スター精密] 接続: 本市保有端末(自動貸出機、予約照会機、OPAC、小野原業務端末)	3	3	1	3	3	1	5	0	0	19
レシートプリンタ	TSP143U GRY JP	サーマルプリンタ [スター精密] 接続: 新規調達機器(自動貸出機、OPAC、カウンタ業務端末、事務室 業務端末)	14	6	3	6	5	3	0	0	1	38
レシートプリンタ	TM-T88 II	サーマルプリンタ [EPSON] 接続: 新規調達機器(事務室業務端末)	3	3	1	3	1	1	0	0	0	12
両面印刷プリンタ	EPSON LP-S3000R	モノクロレーザープリンタ [EPSON] (A3対応、ネットワーク標準対応、31PPM、両面対応)	3	1	1	1	1	1	1	21	1	31

なお「別紙2 本市保有端末等一覧」の機器の保守契約は、平成28年4月1日から本業務落札者と締結する。各機器について、以下に示す履行期間の保守を行うこと。①から③は、調達時に以下に示す期間までの5年保守パックを購入している。

①DELL Optiplex7010 平成30年2月末まで

②DELL LatitudeE5520 平成29年3月末まで

③DELL Optiplex390SFF 平成28年11月末まで

④EPSON LP-S3000R 平成30年3月末まで

※バーコードリーダー、レシートプリンタ故障時は、オンコール対応または代替品への交換対応を行うこと。代替品の手配ができない場合は、本市と協議により対応を検討すること。

<別紙3 機器更新予定表>

品名		現行機種	台数	年度(平成)												
				27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37		
端末	自動貸出機(公共用)	H27年度新規調達機器	8	全台更新								全台更新				
	OPAC(公共用)	H27年度新規調達機器	16	全台更新								全台更新				
	インターネット接続専用端末(公共用)	H27年度新規調達機器	7	全台更新								全台更新				
	業務端末(デスクトップ)(公共用)	H27年度新規調達機器	19	全台更新								全台更新				
	業務端末(ノート)(公共用)	H27年度新規調達機器	11	全台更新								全台更新				
	管理用業務端末(公共用)	H27年度新規調達機器	7	全台更新								全台更新				
	業務端末(学校用)	Optiplex380	42		全台更新								全台更新			
	BM端末	Latitude E5520	1		全台更新								全台更新			
	ゲート監視	Optiplex390SFF	12			全台更新								全台更新		
	自動返却機	Optiplex390SFF	6			全台更新								全台更新		
	自動貸出機	Optiplex390SFF	8			全台更新								全台更新		
	予約照会機	Optiplex390SFF	6			全台更新								全台更新		
	ゲート監視(小野原)	Optiplex7010	1				全台更新									全台更新
	自動返却機(小野原)	Optiplex7010	1				全台更新									全台更新
	自動貸出機(小野原)	Optiplex7010	2				全台更新									全台更新
	予約照会機(小野原)	Optiplex7010	1				全台更新									全台更新
	OPAC(小野原)	Optiplex7010	1				全台更新									全台更新
	業務端末(小野原)	Optiplex7010	2				全台更新									全台更新
両面印刷 プリンタ		LP-S3000R	31			全台更新								全台更新		
レシート プリンタ		TSP143 II U JP TSP143U GRY JP TM-T88 II	69				10台更新									10台更新

2 箕面市図書館システム保守業務委託

1. 履行場所

箕面市箕面 5-11-23 中央図書館 他

2. 目的

本保守業務は、箕面市図書館システム更新等業務委託にて導入する図書館システム（以下「本システム」という。）の円滑な運用を維持し、もって関連業務の処理効率の維持・向上や、関連市民サービス等の安定・正確な提供を目的とする。

3. 業務内容

本業務の内容は、本システムの稼働を維持し、上述の目的を達成するため、下記に示す一切の作業とする。

3-1 稼働維持

- (1) 本システムの運用支援体制を提示し、本市の承認を得ること。
- (2) システム運用に関する相談対応、最新情報・事例の情報提供を行うこと。電話問い合わせ対応については、本市図書館開館日の 20:00 までは対応し、本システムに関する問い合わせに対する回答、必要に応じて S E の派遣対応などを行うこと。
- (3) インシデント管理を行い、対応状況を定期的に報告すること。
- (4) 本システムにおける重要障害は、以下の事象とする（委託者の責めに帰すべき事由による場合を除く）。
 - ① 本システムオンラインが 1 時間以上停止した場合
 - ② 本システムを用いた処理（照会・登録・修正など）を正確に処理できないなどの事象や、システムに起因するその他の事象により、市民や外部機関に損害を及ぼした場合（職員が障害を未然に発見した場合で、かつ発見しなければ明らかに市民や外部機関に影響を及ぼした場合を含む）。
- (5) 重要障害が発生した場合の対応だけではなく、それらの発生を未然に防ぐために必要な措置を行うこと。
- (6) 発注者、関係機関又は住民等に直接影響を与えるような重要障害が発生した場合の対応や、その他の保守条件の詳細は、別途提案させる S L A に基づき協議により決定する。
- (7) 本システムの変更作業等、オンライン業務に影響を与える作業については、業務に影響がない本市図書館閉館時間後・閉館日の対応ができること。
- (8) 導入システムのネットワーク構成、ハードウェア構成、ソフトウェア構成を正しく把握・管理し、ネットワーク構成図、ハードウェア一覧、ソフトウェア一覧等のドキュメントを作成・管理すること。
- (10) 運用・操作マニュアルを提供し、システム等変更があった場合もその都度速やかに改訂版を提供すること。
- (11) 本システムの運用日（土・日曜日、祝日を含む）及び運用時間のスケジュールを管理し、運用を自動化する機能を設定・管理すること。
- (12) あらかじめ設定されたスケジュール以外の日付や時刻へ変更できること。
- (13) 上記（11）及び（12）については計画書及び運用案を作成し、本市の承認を得ること。

(14) クラウドサービスの提供に用いるアプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器等について、以下の運用管理を行うこと。

- ①情報セキュリティ監視（稼働監視、障害監視、パフォーマンス監視等）の実施基準・手順等を定め、データセンターにおいては専門知識・技術を有するスタッフにより 24 時間 365 日監視を行うこと。
- ②稼働監視（応答確認等）を行うこと。
- ③障害監視（サービスが正常に動作していることの確認）を行うこと。
- ④パフォーマンス監視（サービスのレスポンス時間の監視）を行うこと。
- ⑤監視結果（稼働監視、障害監視、パフォーマンス監視）により、障害等の異常を検知した場合は、本市に速報を通知すること。
- ⑥監視結果（稼働監視、障害監視、パフォーマンス監視）について定期報告書の作成、本市への報告を行うこと。
- ⑦技術的ぜい弱性に関する情報（OS、その他ソフトウェアのパッチ発行情報等）の定期的収集、適用検証、適用作業を行うこと。
- ⑧ウィルス対策を講じ、パターンファイルを常に最新に更新すること。年間契約更新手続きを行うこと。
- ⑨利用者データ、アプリケーションやサーバ・ストレージ等の管理情報及びシステム構成情報の定期的なバックアップを実施すること。バックアップの世代管理方法、バックアップの実施インターバル、バックアップのリストア方法を明確にすること。バックアップされた情報が正常に記録され、正しく読み出すことができるかどうかについて定期的に確認すること。

(15) 端末について、以下の運用管理を行うこと。

- ①技術的ぜい弱性に関する情報（OS、その他ソフトウェアのパッチ発行情報等）の定期的収集、適用検証、適用作業を行うこと。
- ②ウィルス対策を講じ、パターンファイルを常に最新に更新すること。年間契約更新手続きを行うこと。

3-2 ソフトウェア保守

- (1) サーバ機器・端末機器更新時に導入パッケージシステムにかかる経費を発生させないこと（端末、その他機器については「別紙3 機器更新予定表」のとおり更新予定）。
- (2) 本システムのバージョンアップ（マイナーバージョンアップ、メジャーバージョンアップ）を継続的に行うこと。バージョンアップの際は、事前に検証を行うこと。また、事前に内容の出張説明を行うこと（必要に応じてSEを派遣すること）。
- (3) パッケージ・ソフトウェアのバグの対応については、本システム保守業務委託契約の範囲内とすること。
- (4) 業務に関する設定変更が必要な場合は、速やかに対応すること。なお、軽易な設定変更等の作業については、本契約の範囲内で対応すること。
- (5) システムで使用しているソフトウェアの構成・情報を管理すること。
- (6) ICタグシステムなどの関連システムに変更が生じた場合は、本システムへの影響を調査し、速やかに対応作業を実施すること。
- (7) 必須要件項目（様式23）に示す機能のうちカスタマイズが必要となる機能により、本稼働後のバージョンアップ等の際に別途費用が必要となる場合は、その費用も業務（2）の見積りに含むこと。

3-3 障害対応

- (1) 障害時の迅速な原因分析・復旧のための体制を提示し、本市の承認を得ること。障害発生時の連絡窓口については、ハードウェアに起因するものか、ソフトウェアに起因するものかの切り分け判断がつきにくいため、一本化する体制をとること。
- (2) 障害発生時の原因分析・復旧においては、ハードウェアとソフトウェアのシームレスな対応を行い、速やかに復旧作業にあたること。
- (3) 収集した障害情報を基に原因を分析し、同様の障害が発生しないように是正処理・予防措置を講じること。また、障害の原因、影響範囲、対処方法、再発防止策を取りまとめ、障害報告書として本市に報告すること。

3-4 再更新時のデータ移行

本システムを再更新する際、他社のシステムを導入する場合には、必要となる本システムからのデータを4回抽出し、再更新後のシステムに利用できるデータにすること。また、テーブル一覧、レイアウト資料などのデータ内容説明資料を作成し、提出すること。これらに係る費用は、本入札において別途提出させる後年度負担金額見積書（様式22）「再更新時のデータ移行費用」に記載する見積金額（消費税等抜き）を上限として、本システムを再更新する際に別途契約する。

ただし、受託者がシステム再更新における契約者となった（10年後の入札等において、同じ事業者のシステムを採用することになった）場合は、当該経費は支払わないものとする。